

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年7月3日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年7月3日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【1号機放水口水位指示計の指示値不良について】 1号機放水口水位指示計の指示値に下降傾向を確認。 確認の結果、当該計器の指示値は正常に復帰しており、当該計器の一時的な不具合と推定。 継続監視を行う。	GⅢ	6月30日
2	【雑固体廃棄物焼却設備(A)のバグフィルタ(A)ホップレベル計の不良について】 雑固体廃棄物焼却設備(A)停止中に、バグフィルタ(A)ホップレベルの「高」を示す警報が発生。 現場確認の結果、当該ホップレベルが高位置にないにも関わらず、レベル計が誤動作したものと判断。 当該レベル計を点検予定。	GⅢ	6月29日
3	【凍土遮水壁設備用電気品室の空調機ドレン配管の詰りについて】 凍土遮水壁設備用電気品室の空調機(B4)に結露水用ドレン配管の詰り、および空調機本体下部に結露水の溢水を確認。 当該空調機を停止し、溢水の停止を確認。また、溢れた水の除去を実施。 当該ドレン配管を点検・清掃。	GⅢ	6月29日
4	【地下水バイパス設備復旧時における復旧忘れについて】 運転中の地下水バイパス設備に揚水受けタンク(B)水位の「高高」を示す警報が発生。 確認の結果、地下水バイパス設備(B系)の電源切替えに伴い、地下水バイパス設備(B系)の復旧操作を行った際、揚水受けタンクの移送ポンプを「運転」とする操作を失念したことが判明。 現場確認にて、当該揚水受けタンクからの漏えい(溢水)なしを確認。 その後、地下水バイパス移送ポンプ(B)を起動。	GⅢ	7月1日